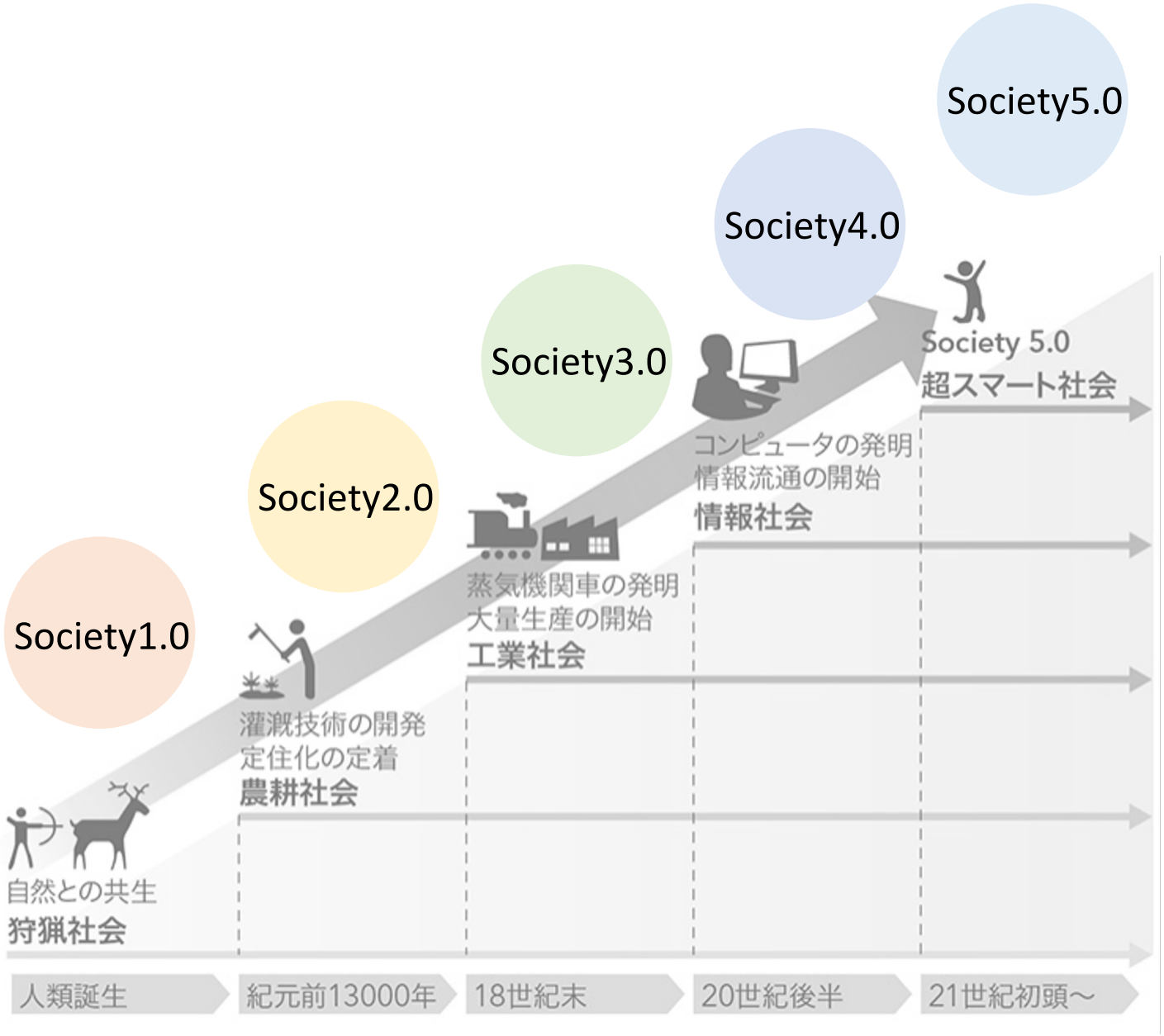
新たな経済社会の実現に向けて

Agenda

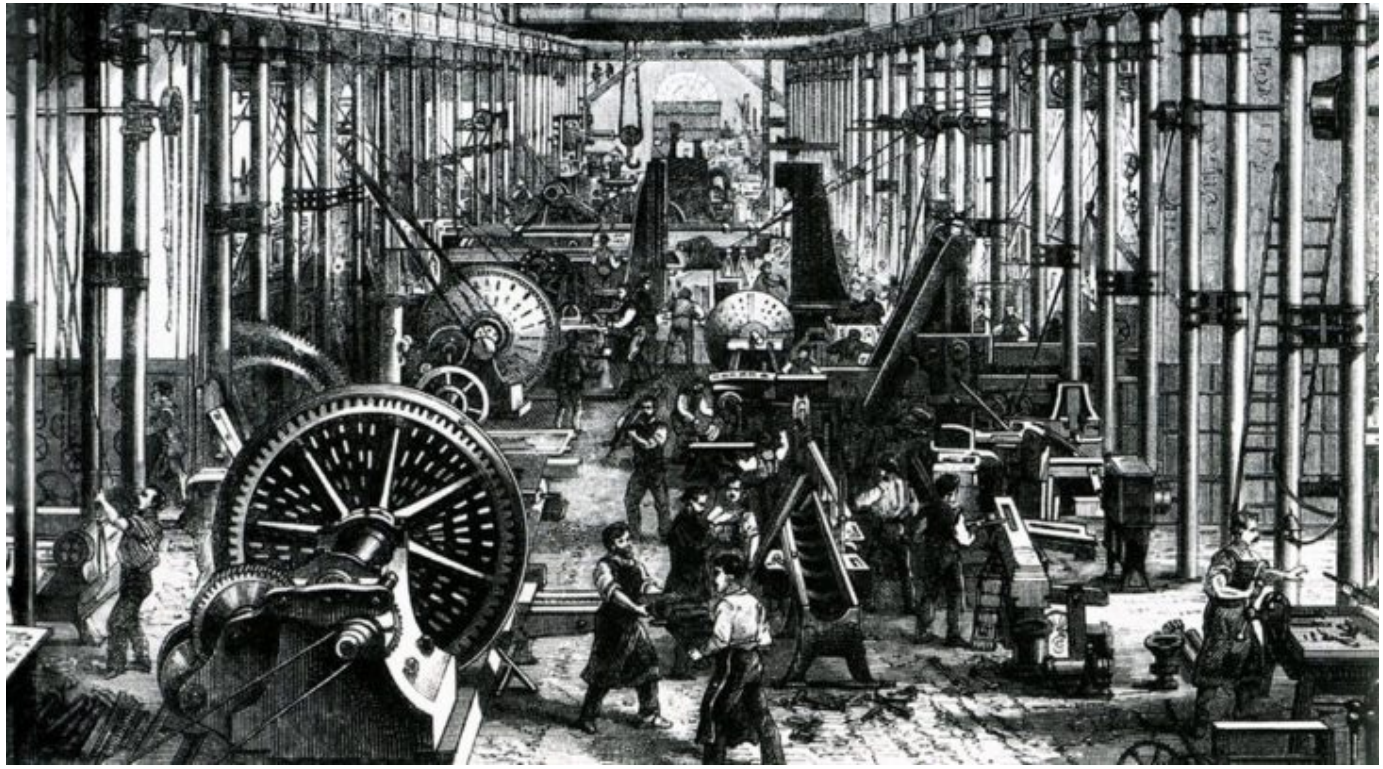
工業化社会と情報化社会の違いを理解し
新たな経済社会の実現に向けて考える

- 経済社会の流れ
- 工業化社会と情報化社会の違い
- 現代へのつながり
- 新たな経済社会の実現に向けて

社会の流れ


Society5.0
Society4.0
Society3.0
Society2.0
Society1.0
Society 5.0
超スマート社会
コンピュータの発明
情報流通の開始
情報社会
蒸気機関車の発明
大量生産の開始
工業社会
灌漑技術の開発
定住化の定着
農耕社会
自然との共生
狩猟社会
人類誕生
紀元前13000年
18世紀末
20世紀後半
21世紀初頭〜

工業化社会



- 18世紀半ばのイギリスの産業革命
- 農耕社会から産業社会へと変化するプロセス
- 社会基盤；組織階層構造
- 働き方；肉体労働
- 技術から富が生まれる時代

情報化社会

- 情報が諸資源と同等の価値を有し、それらを中心として機能する社会
- 働き方；創造的頭脳労働
- 判断から富が生まれる時代

工業化社会

社会基盤
組織階層構造

産業の中心
自動車・家電

時間も場所も関わる人も限られている
活動内容は自由に決められない

情報化社会

社会基盤
ネットワーク

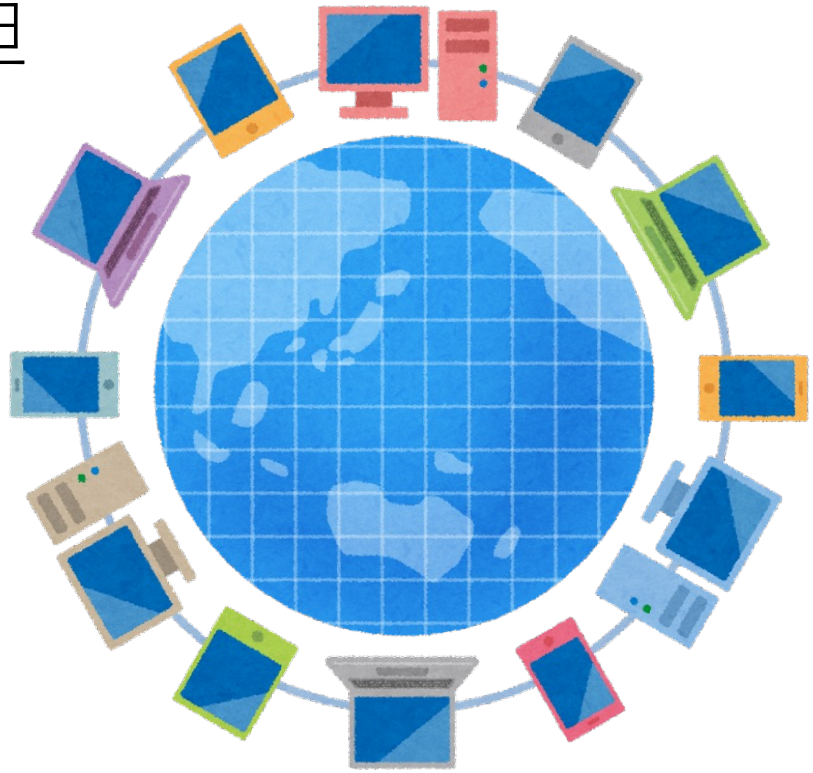
産業の中心
IT・情報

時間も場所も関わる人も制限がない
仕事内容は自分で自由に決められる

課題

- 地域の過疎や少子高齢化の問題
- 知識や情報の共有・連携が不十分
- 情報の探索や分析作業の負担
- 年齢や障害などによる制約

  →拡大していく

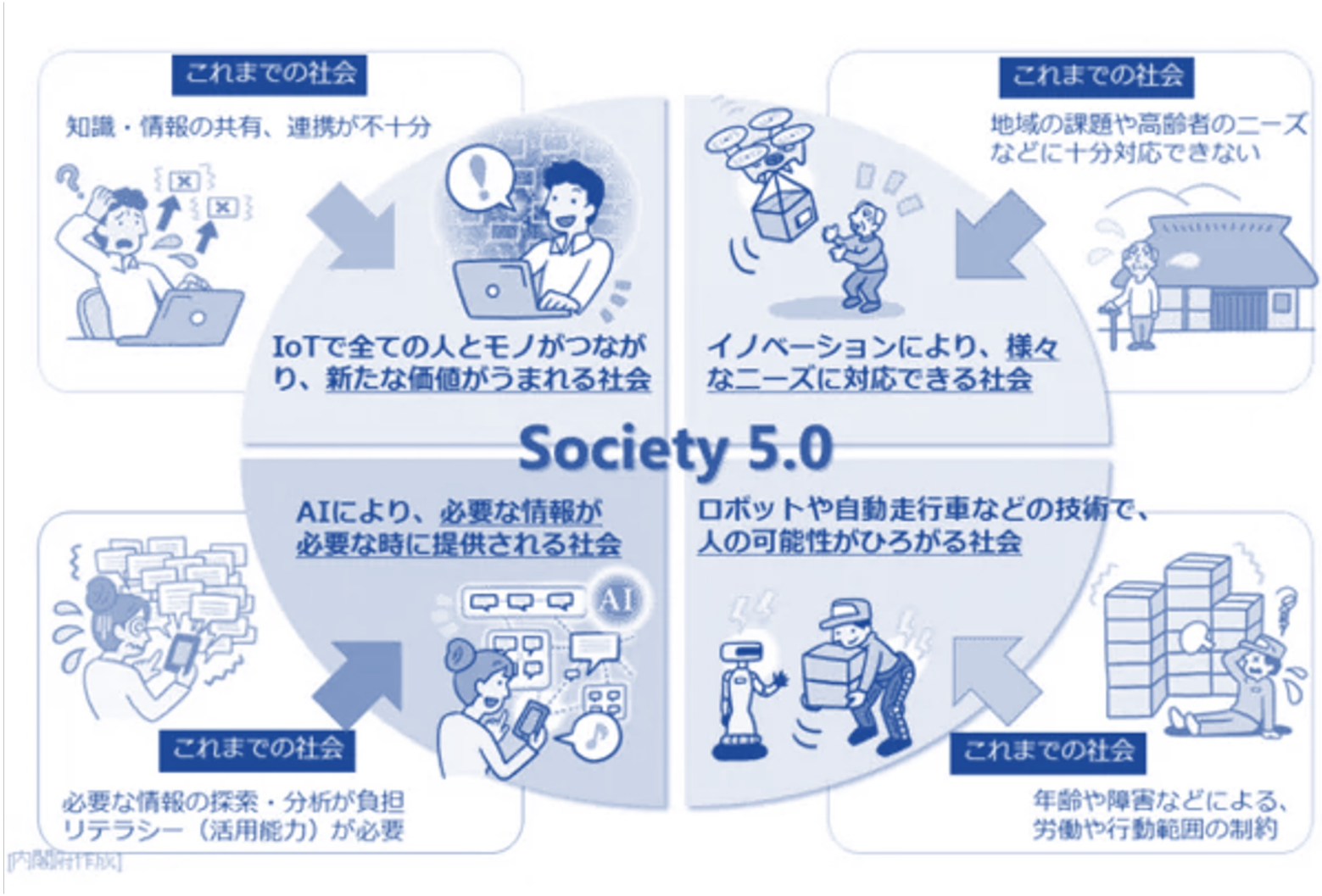


現代へのつながり

【society5.0】

IoTにより仮想空間と現実空間を連携し
すべての物や情報、人を一つにつなぐとともに
AI等の活用により量と質の全体最適をはかる社会

【society5.0】



https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/57382?page=2

【society5.0】

https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/57382?page=2

【society5.0による変化】

医療

・遠隔診断ができるようになる

物流

・ドローン ・遠隔運転技術

仕事

・仕事の管理や調整

例えば・・・
・種まきや水撒き、刈り取りをすべてロボットに任せることができる
・事業計画を練る仕事

【society5.0で生き残るために】

業界を超えそれぞれが得意分野をいかした形で共創していく